

## 資料 4

### 北海道公立大学法人 札幌医科大学 第3期中期目標等（H31～36）策定方針

平成29年8月22日  
北海道総務部  
法務・法人局大学法人室

#### 1 策定にあたって

北海道公立大学法人札幌医科大学は、現在、第2期中期目標期間（平成25年度から平成30年度）の運営を行っているところであるが、第2期の終了時（平成30年度）を迎えるにあたり、これまでの運営状況の評価や道の行財政改革の取組状況などを踏まえ、第3期中期目標等の策定にあたって設立団体としての基本的な考え方を示すものである。

#### 2 第2期中期目標期間（H25～30）の成果等

##### ■中期目標達成状況等評価結果（H25～28）

- 卒業後道内に定着し地域医療に貢献する学生を確保するため、医学部の入試制度改革等を実施。結果、一般合格者に占める北海道医療卒及び道内出身者の割合を高い水準で維持しており、今後、医師（卒業生）の道内定着率向上が期待できる。
- すべての職種の国家試験において、全国平均を上回る高い合格率（看護師国家試験は14年連続合格率100%）を達成するなど医療人育成に貢献している。
- 再生医療に関する治験を継続的に実施するなど、先進的研究を推進した。特に脊髄損傷再生医療に関しては厚労省の「先駆け審査制度」の指定を受け、現在早期の実用化に向けた取組を進めている。
- 診療拠点病院として、がん、肝疾患、エイズ等の専門医療の充実を図ったほか、地域の中核病院への支援にも取り組んだ。
- 診療支援要請への対応（医師派遣）により、道内の2次医療圏の中で唯一分娩体制の空白地域であった南檜山医療圏の体制が整備される（H26～）など、地域医療提供体制の確保に努めた。

##### ■財務関係運営状況

- ・診療収入：H25～22,417百万円 → H28～23,855百万円（+1,438百万円、106.4%）
- ・医薬材料費：H25～8,042百万円 → H28～9,155百万円（+1,113百万円、113.8%）
- ・交付金（※）：H25～6,149百万円 → H28～6,051百万円（△98百万円、98.4%）

（※）交付金効率化係数：管理費・人件費等対前年度△1%

##### ■課題等〔評価委員会意見〕

- 法人の業務運営状況を道民に分かりやすく示すことが重要
- 各項目において目標達成の目安となる数値の設定、通常業務の中で実施する事項と、通常業務以外で目標として定める事項など、目標とする到達度が客観的に分かる設定とする必要がある。

##### ■道の行財政改革の取組状況

- 行財政運営方針（平成28年3月）

今後の財政運営の基本方針（抜粋）

現下の財政状況を踏まえ、（略）施策・事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド、費用対効果の検証を徹底する



- ◆ 中期目標達成状況等評価結果から、中期目標・中期計画の達成に向けて、概ね順調に進んでいると認識している。
- ◆ 以上のことから、平成31年度以降においても、札幌医科大学においては、公立大学法人による運営を継続することとし、評価結果において示された課題や道の行財政改革の取組に留意の上、第3期目の中期目標等の検討を進めることとする。

### 3 第3期中期目標等策定にあたっての留意事項

#### ■中期目標・中期計画等

##### (中期目標・総括)

- 第2期の取組を継承しつつ、法人の果たす役割を、よりわかりやすく表現した目標とする。
- 道や法人を取り巻く厳しい社会情勢の今後の変化を見据えた目標を設定する。
- 設置者である道として法人に取組の強化を期待する項目を目標に盛り込む。

##### ■主な検討の視点

- ・災害拠点病院としての役割や地域医療への貢献など、法人の特色・強みである取組を強調する取組。
- ・新たに整備した施設等を有効活用した研究者や学生に魅力ある研究・教育環境に関する取組。
- ・コンプライアンス推進体制の強化や個人情報保護に関する意識の向上・仕組みづくりに関する取組。
- ・その他、社会情勢の変化や時代に即した新たな取組。

##### (中期計画)

- 目標達成に向けた取り組みは、評価の充実・効率化の観点から、目標達成に必要なかつ主要な取組に絞り込み、項目数は第2期程度とする。
- 法人の個性、強みを積極的に盛り込み、評価の視点にメリハリをつけられるようにする。
- 達成状況を分かりやすいものとするため、具体的な取組や方向性を明示するとともに、到達目標など具体的な指標を積極的に活用する。

##### (年度計画)

- 中期計画の目標達成に向け、中期計画構成事業・取組として整理し、計画的に推進管理を行うとともに、PDCAサイクルの手法を取り入れ、それが効果的に機能するよう、具体的な目標数値等、達成度を客観的に判断できる指標を積極的に盛り込む。
- 単年度では成果を明確にできない項目は、単年度毎の具体的な取組と、その取組により将来目指す成果（数値目標や到達目標等）をできる限り具体的に盛り込む。

#### ■財務関係

##### (道の財政状況・行財政改革に沿った財政支援)

- 中期目標の遂行及び自主的な運営の確保を基本に、引き続き厳しい道の財政状況を踏まえ、道の行財政改革の取組を念頭に置きつつ、法人の実態も踏まえた財政支援について検討する。

##### (業務改革による簡素で効率的な組織体制の確立)

- 民間ノウハウやICTの利活用等による更なる業務改革の検討により、これまで以上に簡素で効率的な組織体制の確立を計画的に進める。

##### (財務基盤の強化)

- 限られた財源や人的資源の有効活用を図りつつ、診療収入の安定的確保や外部研究資金等の獲得など自己収入の増加に努めるほか、経費全般の効率的執行、歳出全般の見直しを検討し、財務基盤の強化を図る。

### 4 第3期中期目標等策定スケジュール（予定）

年・月	中期目標	中期計画
平成29年 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価委員会：「中期目標等策定方針」意見→札医大へ通知</li> <li>○評価委員会：「中期目標終了時検討」意見→「中期目標素案」審議</li> <li>○道議会報告</li> <li>○パブリックコメント</li> <li>○評価委員会意見</li> <li>○道議会議決 →札医大へ指示</li> </ul>	
平成30年 3月～ 4月		
6月		
7月～ 8月		
8月～ 10月		
12月		
平成31年 1月～ 2月		